

さいたま市小・中一貫「英会話」の概要について

1 「英会話」のねらい

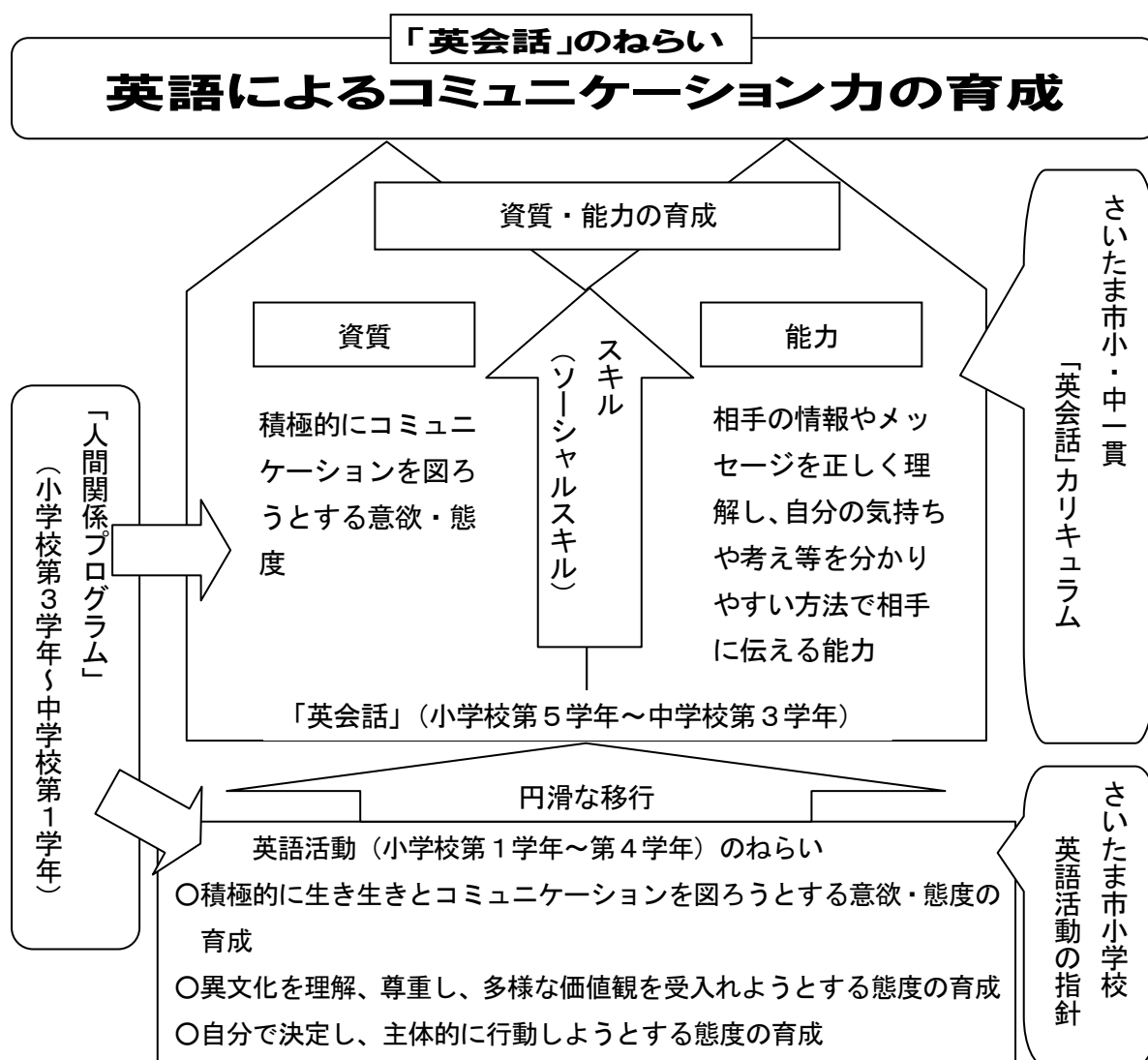
(1) ねらい

国際化が進展するさいたま市において、外国人に堂々と対応したり、同世代の外国人児童生徒に、国際共通語としての英語を用い自信をもって自分の意見を論理的に伝えたり、意見を交換したりできる児童生徒の育成が求められている。そこで、本市では、小学校第5学年から中学校第3学年までの5年間の教育課程において実施する「英会話」を通して、「英語によるコミュニケーション力」の育成を図っている。

具体的には、児童生徒の「積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度」、「相手の情報やメッセージを正しく理解し、自分の気持ちや考え等を分かりやすい方法で相手に伝える能力」、及び「ソーシャルスキル」の育成に努めている。

また、「英会話」の実施に当たっては、以下の点に留意している。

- ①小学校第3学年から中学校第1学年において実施する「人間関係プログラム」との関連に配慮すること
- ②小学校第1学年から第4学年においては、「さいたま市小学校英語活動の指針」の趣旨・内容等を踏まえて英語活動を実施し推進し、「英会話」への円滑な移行につなげていくこと



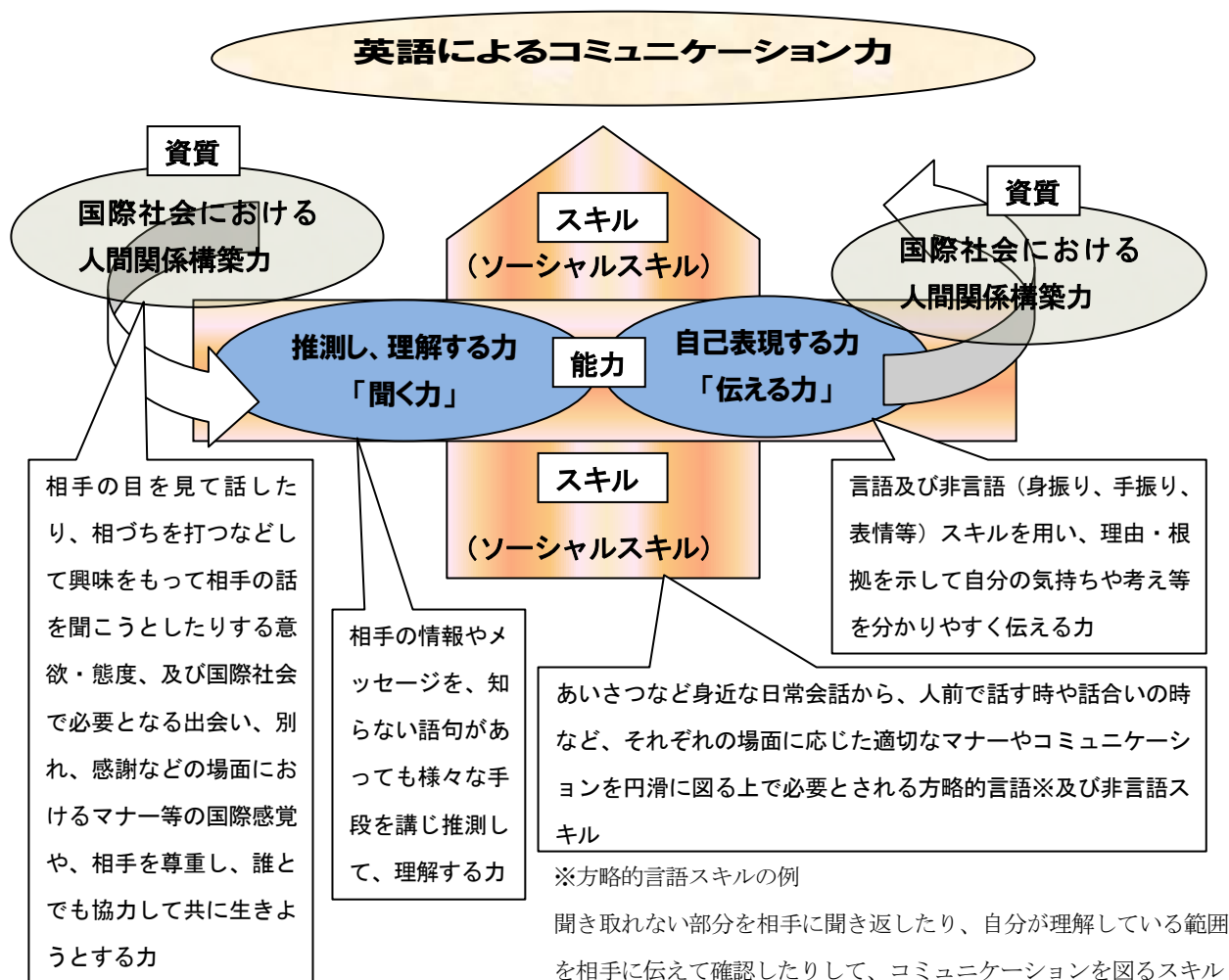
(2) 英語によるコミュニケーション力を育成するための構成要素

英語によるコミュニケーション力は、次に述べる資質・能力及びソーシャルスキルによって構成される。

まず、資質を「積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度」ととらえ、「国際社会における人間関係構築力」と称する。

次に、能力を、聞く側に必要となる能力（聞く力）、すなわち「推測し、理解する力」、また、話す側に必要となる能力（伝える力）を「自己表現する力」ととらえる。

さらに、国際社会における人間関係を構築する上で必要となるルールやマナー、また、場面に応じたコミュニケーションの図り方をソーシャルスキル（以下「スキル」と表記する。）をとらえる。以上の資質・能力及びスキルを、下の図に示すように、英語によるコミュニケーション力の構成要素とする。



英語によるコミュニケーション力を育成するための具体的方略

- 小学校ではぐくまれるコミュニケーション力が中学校につながるよう市独自に開発した小・中一貫カリキュラムを全小・中学校で実施する。
- 英語による授業を実施するため、多様な人材【外国語指導助手(ALT)、外国人英語講師 (NET)、英会話講師 (JAT)】を配置し、学級担任 (HRT) と協同の授業を展開する。
- 児童生徒の主体性を重視した体験的な活動を重視し、きめ細かな指導を行ったり、豊かなコミュニケーションのモデルを示したりするため、全授業でティームティーチングを展開する。

2 授業時数等

国際社会において、広い視野と柔軟な考え方をもち、様々な人々と協調しながらよりよく課題解決を図り、豊かな心とたくましい精神力で主体的に活動する児童生徒の育成を目指し、平成17年度から『潤いの時間』として「人間関係プログラム」と「英会話」を実施している。平成21年度からは、文部科学省の教育課程特例校の指定となった。

【小学校】	各教科の授業時数									道徳の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	特別活動の授業時数	潤いの時間 の授業時数		総 授 業 時 数
	国 語	社 会	算 数	理 科	生 活	音 楽	図画工作	家 庭	体 育				人間関係 プログラム	英会話	
第1学年	306		136		102	68	68		102	34		34			816
第2学年	315		175		105	70	70		105	35		35			875
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	52	35	18		945
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	52	35	18		980
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	52	35	18	35	980
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	52	35	18	35	980

【中学校】	必修教科の授業時数									道徳の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	特別活動の授業時数	選択教科に充てる授業時数	授業時間の潤い		総授業時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語					人間関係プログラム	英会話	
第1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	26	35		12	12	1015
第2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	53	35			17	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	53	35			17	1015

【授業時数】

学 年	小学校 第5学年	小学校 第6学年	中学校 第1学年	中学校 第2学年	中学校 第3学年
時 数	3 5時間	3 5時間	1 2時間	1 7時間	1 7時間

【指導者】

小学校	学級担任 (HRT: <u>H</u> ome <u>r</u> oom <u>T</u> eacher)	英会話講師 (JAT: Japanese Assistant Teacher)	外国語指導助手 (ALT: Assistant Language Teacher) 3 5時間中の1 / 3程度
中学校	外国人英語講師 (NET: Native English Teacher)		英会話講師 (JAT: Japanese Assistant Teacher)

3 各学年の目標

英語によるコミュニケーション力(資質・能力)		小学校 第5学年・第6学年	中学校 第1学年	中学校 第2学年	中学校 第3学年
	A 国際社会における人間関係構築力 (積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度)	興味をもって相手の話を聞こうとする [A-2, A-3] 積極的に話しかけたり、協力したりして活動しようとする [A-1, A-4, A-5, A-7] 国際社会で必要な、初歩的なマナーを身に付けようとする [A-6] 異文化に興味・関心をもとうとする [A-8]	興味をもって相手の話を聞き、反応しようとする [A-2] 進んで話しかけ、コミュニケーションを継続しようとする [A-1, A-3, A-5] 国際社会でも通用するプレゼンテーションの仕方を身に付けようとする [A-4] 異文化を理解し、自(国)文化を再認識しようとする [A-8]	相手の考えや気持ちを知った上で、適切に反応しようとする [A-2] 協力して課題解決を図るため、進んでコミュニケーションを図ろうとする [A-1, A-3, A-5] 国際社会での礼節を身に付けるとともに、自己をアピールしようとする [A-4] 異文化及び自(国)文化のよさを知ろうとする [A-8]	相手の考えや気持ちを知った上で、自分の考えや気持ちを分かりやすく伝えようとする [A-2] あらゆる手段を使い、自信をもってコミュニケーションを図ろうとする [A-1, A-3, A-5] 国際社会でも通用する話し合いの仕方を身に付けようとする [A-4] 異文化及び自(国)文化のよさを知ろうとする [A-8]
	B 推測し、理解する力 (聞く力)	言語・非言語スキルから場面や状況を想像し、話の内容を大まかに推測し反応する [B]	言語・非言語スキルから場面や状況を想像し、話の内容を推測して、適切に反応する [B]	言語・非言語スキルから場面や状況を想像し、話の内容を推測して、適切に反応する [B]	言語・非言語スキルから場面や状況を想像して、話の内容を推測し、適切に反応する [B]
	C 自己表現する力 (伝える力)	言語・非言語スキルなどを使って伝える [C-1] 言語・非言語スキルを使って理由をつけながら伝える [C-2]	言語・非言語スキルなどを多用して伝える [C-1] 言語・非言語スキルを使って理由を付けながら伝える [C-2]	様々なスキルを使って、筋道を立てて伝える [C-1] 具体例をあげながら理由、根拠を伝える [C-2]	様々なスキルを使い工夫して分かりやすく伝える [C-1] 具体例をあげながら理由、根拠を伝える [C-2]
	スキル (国際社会で必要な行動様式・英語によるコミュニケーション活動)	- あいさつなどの初歩的なマナー - 初歩的なコミュニケーションの図り方	- 人前で話す時のマナー - 身近な場面に応じたコミュニケーションの図り方	- 状況に応じたマナー - 様々な場面に応じたコミュニケーションの図り方	- 話し合いでのマナー - 話し合いでのコミュニケーションの図り方

* 非言語スキル：身振り、手振り、表情、声の強弱などを意味する

4 各学年の評価規準

英語によるコミュニケーション力(資質・能力)	観 点	小学校 第5学年・第6学年	中学校 第1学年	中学校 第2学年	中学校 第3学年
	A 国際社会における人間関係構築力 (積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度)	◎1 誰とでも進んでコミュニケーションを図ろうとしている ◎2 相づちを打ったり、メモをとったり、感想を伝えるなどして、相手の話に反応しようとしている ◎3 相手に体を向け、目を見て聞いたり、話したりしようとしている ◎4 相手に伝わる音量で受け答えをしようとしている ◎5 誰とでも協力して活動しようとしている 6 出会い、別れ、感謝などにおけるマナーを身に付けようとしている 7 間違えることを恐れず行動しようとしている 8 外国や日本の家庭や学校における日常生活や風俗習慣などを比べ異文化や自国文化に興味を示している	3 つなぎ言葉を用いるなど、コミュニケーションを続けようとしている 4 姿勢、立ち位置、目線、豊かな表情、適切な音量など、人前で話す際のマナーを身に付けようとしている 5 進んで自分の考えや気持ちを話そうとしている	3 協力して課題を解決するために、コミュニケーションを図ろうとしている 4 非言語スキルなどを使い、自分が特に伝えたい内容を、強調しようとしている	3 言語・非言語スキル、視覚情報、などあらゆる手段を使い、コミュニケーションを図ろうとしている 4 はっきり意思表示し、自己決定をしようとしている 5 自信をもって自分の考えや意見を話そうとしている
	B 推測し、理解する力 (聞く力)	聞き取った言葉、身振り、手振り、表情などを手がかりに、話の内容を大まかに推測し、反応している	聞き取った表現を状況・場面と結び付け、話の内容を大まかに推測し、適切に反応している		
	C 自己表現する力 (伝える力)	1 自分や友達のことについて、言語・非言語スキルを使って伝えている 2 慣れ親しんだ言語や非言語スキルを使って、理由を付けながら伝えている	1 身の回りのことについて、言語・非言語スキルを使って伝えている	1 非言語スキルや視覚情報などを使って順序だてて伝えている 2 考えや意見に具体的な理由や根拠を付けて伝えている	1 別の語句や表現で言い換えたり、非言語スキル、視覚情報などを使ったりして具体的に伝えている
	スキル (国際社会で必要な行動様式・英語によるコミュニケーション活動)	・ あいさつなどの初歩的なマナー ・ 初歩的なコミュニケーションの図り方	・ 人前で話す時のマナー ・ 身近な場面に応じたコミュニケーションの図り方	・ 状況に応じたマナー ・ 様々な場面に応じたコミュニケーションの図り方	・ 話合いでのマナー ・ 話合いでのコミュニケーションの図り方

